

会 議 録

会 議 名	平成 28 年度第 1 回東浦町子ども読書活動推進会議	
開催日時	平成 28 年 6 月 29 日（水） 午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分	
開催場所	東浦町中央図書館 2 階小会議室	
出 席 者	委 員	青木美奈子氏（委員長）、奥田英子氏（副委員長）、恒川里美氏、松下玲子氏、仲川貴子氏、向井貴子氏、山下裕代氏
	事務局	成田図書館長、大塚係長、万徳図書館指導員
議 題	1 平成 28 年度実施計画について 2 その他	
傍聴者の数	0 名	
委員	○学校にとって、図書館サポーターの存在はありがたい。本に親しめるよう図書館のコーナーディスプレイはもちろんのこと、低学年への読み聞かせや、中高学年へのブックトークなどの取り組みなど、様々な面で協力してもらっている。	
委員	○本の見せ方や展示の仕方などによっても、本への興味や出会いが違ってくる。	
事務局	○図書館サポーターには、学級文庫充実事業においても、図書館から貸し出した本の管理など、協力してもらっている。	
委員	○保育園の図書担当者が一堂に会して情報交換する場はあるのか	
委員	○残念ながらない。	
委員	○お母さん先生というのは何か。	
委員	○お母さん先生というのは、母親が先生と協力して保育に参加するケースのことである。	
委員	○お母さん先生は読み聞かせなどもおこなう。年少、年中、年長児らを集め、どの学年にも合う絵本を選んで、読み聞かせをする場合もある。大型絵本を用意して、全園児を前に読み聞かせをおこなうケースもある。	

委員	○保育園では、家庭でいらなくなった本もよく活用している。貸出用にしたり、バザーで利用したりすることも多い。
委員	○ハナハナベビーでよむらびのぬいぐるみと布絵本を紹介したところ、大変好評であった。裁縫に興味のある方などからは作ってみたいという声も上がっていた。
委員	○よむらびフェスタ（図書館まつり）でも、よむらびのぬいぐるみや布絵本が活用されている。
委員	○児童館をミニ図書館という意識で見ている子どもも多い。課題図書などを置いているところもある。低学年や中学年用の課題図書などを2冊ずつ用意している児童館もある。来館は自由で、児童クラブに入会していない児童も遊びに来るし、本も借りていく。遊びに夢中になった後、読書に熱中する子や、読書で気分転換する子など、子どもたちの気持ちの切り替えにも役に立っているようだ。
委員	○本の貸出で1人6冊2週間というのは、どこの児童館もやっていることだと思う。
委員	○ブックスタートについては、以前は本を渡さず、その予算を中央図書館の充実に充てるということであったが、今年からは本を配布することになったようだ。
事務局	○本来、ブックスタートでは、子どもに本を配布するものである。25周年を機に、本来のようにブックスタートで本を配布することになった。
委員	○ブックスタート事業では、年子や双子などの場合も、同じ本が配布されるのか。あるいは本を選ぶことはできるのか。
事務局	○今年は本を選ぶことはできないが、ブックスタート協会から購入しているので、今後本が選択できるかどうかを、ブックスタート協会に相談してみたい。